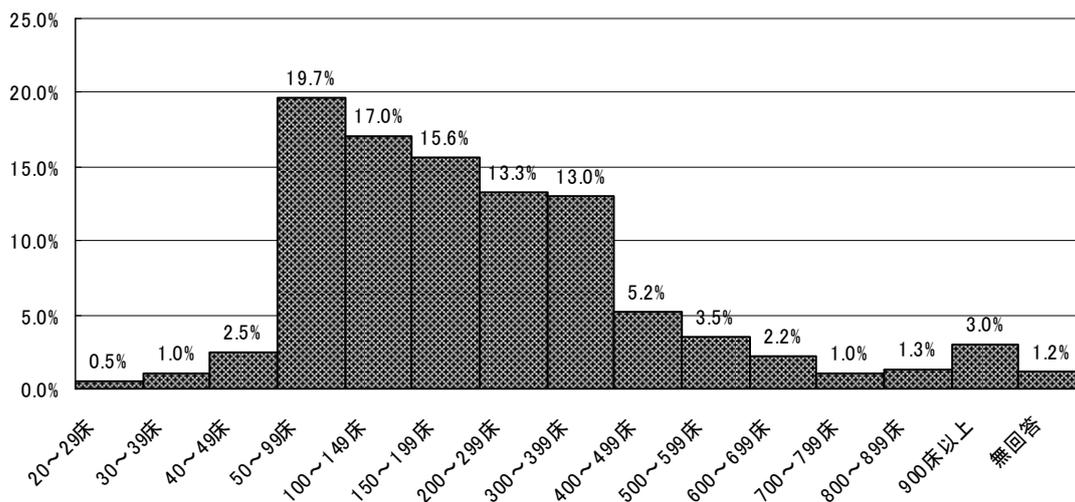


3) 一般病床数

病院における一般病床数についてみると、「50床～99床」(19.7%)が最も多く、次いで「100～149床」(17.0%)となっている。

図表 6.1-3 一般病床数(病院)

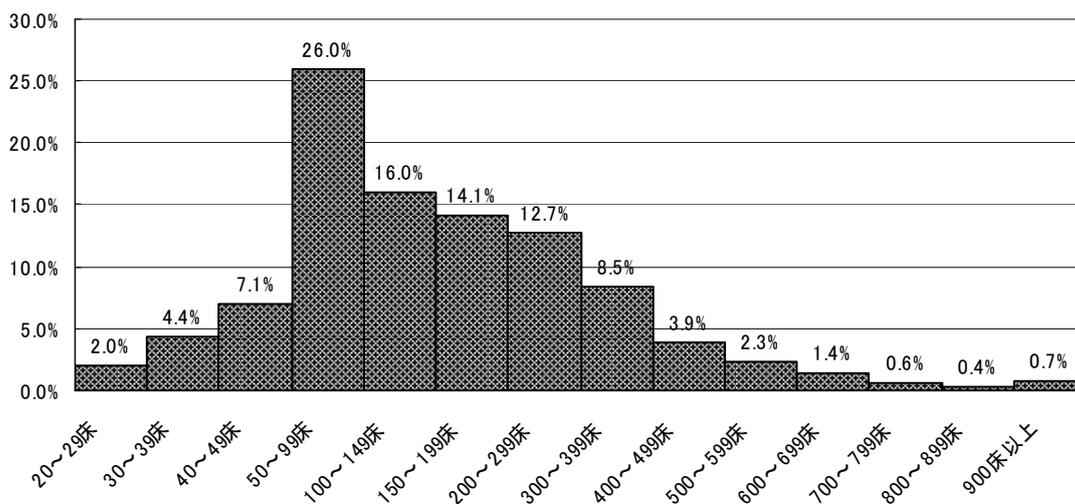
病院(N=630)



※参考：全国の病院における病床規模別割合

(平成17年度医療施設調査 上巻 第6表 病院数・構成割合, 年次・病床規模・精神科病院—一般病院(再掲)別)

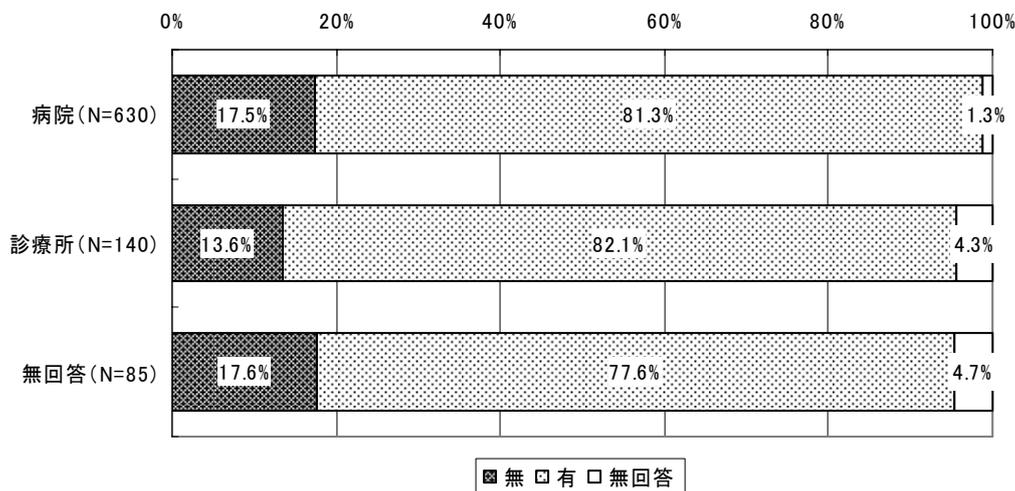
病院(N=9026)



4) リハビリテーション科標榜の有無

リハビリテーション科標榜の有無について、病院と診療所別では次のとおりであった。病院においては「有」が81.3%、診療所では「有」が82.1%となっている。

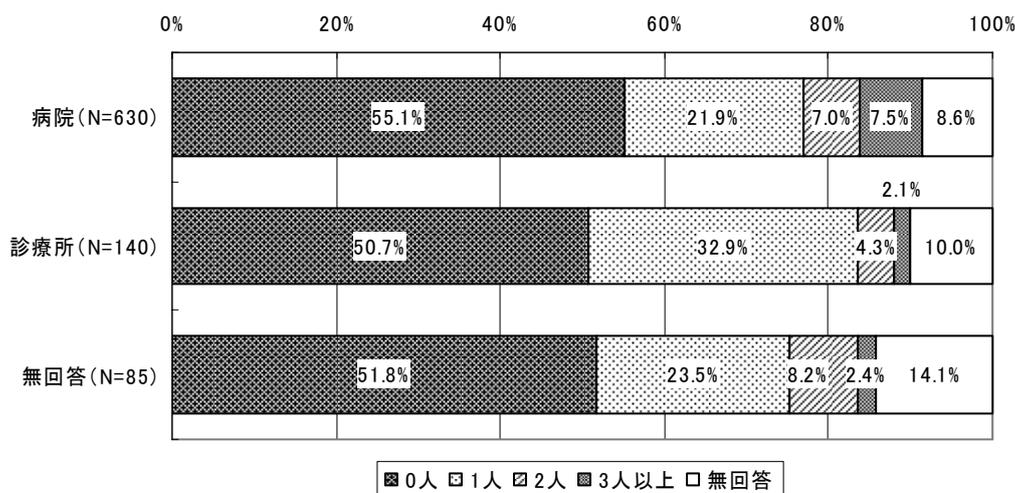
図表 6.1-4 リハビリテーション科標榜の有無



5) リハビリテーション専門医数

リハビリテーション専門医数について、病院と診療所別では次のとおりであった。病院においては「0名」(55.1%)が最も多く、次いで「1名」(21.9%)となっている。診療所においては「0名」(50.7%)が最も多く、次いで「1名」(32.9%)となっている。

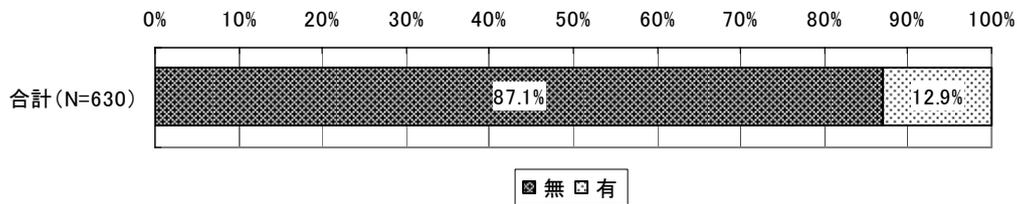
図表 6.1-5 リハビリテーション専門医数



6) 回復期リハビリテーション病棟入院料の届出の有無

病院における回復期リハビリテーション病棟入院料の届出の有無についてみると、「無」(87.1%)、「有」(12.9%)となっている。

図表 6.1-6 回復期リハビリテーション病棟入院料の届出の有無(病院)



7) 主に担っているリハビリテーション医療の段階

主に担っているリハビリテーション医療の段階について、病院と診療所別では次のとおりであった。

病院においては「急性期中心」(36.0%)が最も多く、次いで「いずれともいえない」(23.7%)となっている。診療所においては、「維持期中心」(40.7%)が最も多く、次いで「いずれともいえない」(34.3%)となっている。

図表 6.1-7 主に担っているリハビリテーション医療の段階

